

2026 年 1 月 20 日
日本調剤株式会社

**「歯周病」を防ぎ、全身の健康を守る新習慣！
日本調剤、プライベートブランドから薬用歯磨き粉を新発売
～ダブルの殺菌成分とプロポリス配合。オーラルフレイルを予防し健康寿命を延伸～**

全国 47 都道府県で調剤薬局を展開する日本調剤株式会社（本社所在地：東京都港区芝、代表取締役社長：小城 和紀、以下「日本調剤」）は、プライベートブランドの新商品として、**薬用歯磨き粉「トゥースプロテクト PRO『天蜂』」**を 2026 年 1 月 20 日より「日本調剤オンラインストア」で、2 月 2 日より日本調剤の店舗で販売いたします。本製品には**プロポリス※¹** や**ヒノキチオール**といった希少な成分を配合しており、毎日のブラッシングを通じて、「**歯周病※²**」を防ぎながら**全身の健康を育む新習慣**を提案いたします。



■開発背景～「歯周病」から全身の健康を守り、健康寿命を延ばすために～

「歯周病」は、歯の周囲に付着した歯垢（プラーク）の中の細菌が歯茎に炎症を引き起こし、進行すると歯を支える骨が溶けてしまう病気です。むし歯と並び、**歯を失う二大原因の一つ※³**であり、糖尿病や脳梗塞、心疾患など**全身疾患との関連も報告されています※⁴**。厚生労働省の調査では、歯周病の初期症状とされる「**歯茎からの出血**」がある人は、20 歳から 84 歳の約 4～5 割、「4mm 以上の歯周ポケット」を有している人は、55 歳以上の約 5～6 割に達しており※⁵、まさに「国民病」とも呼べる病気です。

また、歯周病による歯茎の炎症や歯の喪失は、**口腔機能の衰え（オーラルフレイル）**を招きます。オーラルフレイルは、全身の虚弱（フレイル）や生活習慣病の発症・重症化のリスクが高める※⁶ため、**健康寿命を延ばすには、日々の口腔ケアによる歯周病予防が不可欠です。**

日本調剤はこうした健康課題に応えるべく、高い殺菌力と植物由来の優しさを両立した**薬用歯磨き粉「トゥースプロテクト PRO『天蜂』」**を開発しました。

■「トゥースプロテクト PRO『天蜂』」2つの特長

1. ダブルの殺菌成分で歯周病・口臭をブロック！

殺菌成分イソプロピルメチルフェノールとヒノキチオールとのダブル配合により、歯周病の原因菌を殺菌。気になる口臭も元から防ぎ、お口の健康環境を維持します。

2. プロポリスと6つの天然植物由来成分をぜいたくに配合

ミツバチが巣を守るために作る天然の防御成分「プロポリス」に加え、厳選された6つの天然植物由来成分を配合。医薬部外品として確かな効果を発揮しながら、毎日使い続けたいくなる心地よい使用感を実現しました。

■開発者コメント(薬剤本部ヘルスケア推進部長 佐々木康秀)

「お口の健康は全身の健康の入り口」といわれます。オーラルフレイルを予防し、生涯自分の歯で食事を楽しむためには、積極的な口腔ケアが重要です。

本製品では、天然由来の成分を活かしつつ、優れた殺菌効果を持つ薬用処方を採用しています。日々の歯周病予防を通じて、**全身の健康を見直すきっかけ**にお役立てください。



※1 歯肉炎・歯周炎を指す

※2 プロポリス(賦形剤)

※3 厚生労働省.“歯の喪失の原因”.e-ヘルスネット.

<https://kenet.mhlw.go.jp/information/information/teeth/h-04-002>(閲覧日:2026年1月8日)

※4 厚生労働省.“歯周病検診マニュアル 2023”.

※5 厚生労働省.“令和6年歯科疾患実態調査”.

※6 厚生労働省.“口腔機能の健康への影響”.e-ヘルスネット.

<https://kenet.mhlw.go.jp/information/information/teeth/h-08-001>(閲覧日:2026年1月8日)

■商品概要

商品名称	トゥースプロテクト PRO「天蜂」
分類	薬用歯みがき類(医薬部外品)
効果・効能	歯周炎(歯槽膿漏)の予防、歯肉炎の予防、口臭の防止、むし歯の発生及び進行の予防、歯を白くする、口中を浄化する、口中を爽快にする
内容量	80g
希望小売価格	1,760 円(税込)

■日本調剤オンラインストアでのご購入はこちらから

<https://store.nicho.co.jp/products/OS202601051002>

■本取り組みが該当する日本調剤グループのマテリアリティ

(重要課題グループ)	(マテリアリティ)
【A】医療のクオリティとアクセシビリティ	2. 未病・予防など地域の健康をサポートする薬局機能の拡張
【B】医薬品の品質と安定供給	
【C】医療機関の人的課題の解消	
【D】カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーへの寄与	
【E】多様な人材の育成と活躍	
【F】社会的責任を果たすためのガバナンス強化	

日本調剤グループは公正で透明性の高い経営基盤の構築を目指し、また、事業活動を通じた医療・ヘルスケア分野における社会課題の解決に取り組むために、マテリアリティを特定しています。日本調剤グループのサステナビリティの取り組みはこちらをご覧ください。

<https://www.nicho.co.jp/corporate/sustainability/>

【日本調剤グループについて】 <https://www.nicho.co.jp/brand/>

日本調剤グループは、すべての人の「生きる」に向き合う、という揺るぎない使命のもと、調剤薬局事業を中核に、医薬品製造販売事業、医療従事者派遣・紹介事業、情報提供・コンサルティング事業を展開する、多様な医療プロフェッショナルを擁したヘルスケアグループです。医療を軸とした事業アプローチによる社会課題解決を通じて持続可能性を追求し、すべての人の「生きる」に貢献してまいります。

【日本調剤株式会社について】 <https://www.nicho.co.jp/>

1980 年の創業以来、一貫して国の健康保険制度を支える調剤薬局のあるべき機能・役割を全うすべく「医薬分業」を追求し、調剤薬局展開を積極的に行っています。現在では、全都道府県に調剤薬局を展開し約 4,000 名の薬剤師を有する、日本を代表する調剤薬局企業として評価を得ています。また、ジェネリック医薬品の普及や在宅医療への取り組みだけでなく、早くから ICT 投資を積極的に進めており、超高齢社会に必要とされる良質で革新的な医療サービスの提供を行ってまいります。

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

日本調剤株式会社 広報部 広報担当

TEL:03-6810-0826 FAX:03-3457-3152

E-Mail: pr-info@nicho.co.jp